

【開催報告】2019 年度アワード表彰&法人交流会の開催レポート(2020/2/10)

2020年2月10日(月) 渋谷ソラストコンファレンスにて、2019年度ウーマンエンパワー賛同企業アワード表彰&法人交流会を開催いたしました。

4年目を迎えた今回も、賛同企業をはじめ多くの方にご参加いただき、「受賞企業の取り組みが非常に参考になった」「プレゼンを聴きとても刺激を受けた」「自社での展開のヒントになった」など、多くの嬉しいお声を頂戴いたしました。



表彰企業の皆様と審査員の皆様



2019年度は4社を表彰



渋谷ソラストコンファレンスにて



多くの方にご来場いただきました

昨年に引き続き、大賞2社(従業員500名以上／500名未満部門)、特別賞2社(従業員500名以上／500名未満部門)を表彰させていただき、各社でのお取り組み内容についてプレゼンしていただきました。

審査員は[こちら](#) / 取り組みの趣旨は[こちら](#) / 審査基準は[こちら](#)

▼特別賞：JAPAN TESTING LABORATORIES 株式会社
(従業員 500名未満の部)



同社では、既に性差なく活躍できる環境を整備しており、さらには評価に連動する仕組みも確立されているとのこと。その効果として、女性社員の増加や定着率の向上をも実現されている点を評価し、表彰させていただきました。今後は、今後は「男女」ではなく「個人」までフォーカスしていき、全社員がより一層活躍できる会社を目指していきたいとお話でした。

▼特別賞：石井食品株式会社
(従業員 500名以上の部)



2019年10月から11月にかけての1か月間、石井代表自らが育児休職を取得。“育休は「休み」ではなく「修行」でした”と語る石井氏。男性であり、かつ多くの役割を担う会社の代表が1か月の育児休職を取得することで、ほかの男性や役員・管理職の意識に変化が生まれているそうです。一般的には意識を変えることが難しいとされている層を巻き込みながら変化していく企業姿勢を評価されての受賞となります。

▼大賞：株式会社グローバルウェイ
(従業員 500名未満の部)



完全在宅勤務をはじめとする「多様な働き方」をすでに実践しており、経営側も出社を前提としない組織作りが当たり前の水準になっているとのこと。働きやすさだけでなく、組織の作り方から変えていこうという企業姿勢を評価されての受賞となります。営業職在宅求人を整備したところ応募40人から応募1000人超を2回経験し、その反響に驚いたとのこと。

▼大賞：株式会社シーボン
(従業員 500名以上の部)



従来より「ショートタイム正社員の導入」「社内報の発行(社員の多様な働き方紹介)」等の取り組みを行ってきましたが、更に 55 歳以上の社員の活躍推進を目的に「セカンドキャリア研修」を実施。女性だけでなく、社員一人ひとりが自身のキャリアに対してチャレンジできる企業風土の醸成に努めている点を評価させていただきました。株式会社シーボンは、2017年度準グランプリの受賞につづき、本年は大賞を受賞。ウーマンエンパワー殿堂入りとさせていただきました。

▼表彰式後の法人交流会の様子



「ウーマンエンパワー」の活動は、単なる数字比較だけではなく、個社事情に合わせて取り組みに努力している企業にスポットを当てながら、女性活躍という言葉がなくなる社会を目指す取り組みです。

世界経済フォーラムが公表した「ジェンダー・ギャップ指数 2019」でも日本の順位は153カ国中過去最低の121位となっており、女性はチームに参加していても決定権をもつことが少ないというのが現状です。実態として一部のキャリア組を除くと収入格差も縮まっておらず、男女双方のよい視点を生かし合う社会には遠いといえます。

女性活躍に関するお取り組みが、結果的に全ての人が成果を出しやすくする仕組みづくりに直結している企業の好事例も増えています。今後もウーマンエンパワープロジェクトでは、様々な企業の模索と努力にスポットを当てながら、女性活躍のニュースがなくなる社会に向けて発信・貢献してまいりたいと思います。行政への提言活動も継続していくほか、ニーズの多い中小企業の事例や賛同企業のご紹介等、活動自体の認知に注力して参ります。

ご参加頂いたみなさま、誠にありがとうございました。今後ともこの取り組みへのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

このアワード表彰式・法人交流会の様子は、2月12日(水)朝7:30から放送の「シャキット！」(チバテレ・テレ玉・tvk)にて放送されました。

ウーマンエンパワー賛同企業 事務局